

感染症科医が、 いま伝えたい薬剤耐性菌対策

「やっかいな耐性菌、複雑化する治療薬、
変わらない感染症診療の原則」

講師：杏林大学医学部 臨床感染症学教室
嶋崎 鉄兵 先生



「地域単位で薬剤耐性に取り組む重要性とは？」

講師：岐阜大学 感染症寄附講座
手塚 宜行 先生



日時：2025年1月16日(木)

講義（質疑応答含む）：19：00～20：00

対象：講義内容に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。

場所：WEB 開催（Zoom） ※事前申込不要

URL：<https://us02web.zoom.us/j/81349654813?pwd=qro6dhBSzY3vRhJEcCKJHsD3eMeaYV.1>

QR：

<事務局> 東京都立小児総合医療センター 医事課 近常（ちかつね）
TEL：042-300-5111 内線：3118

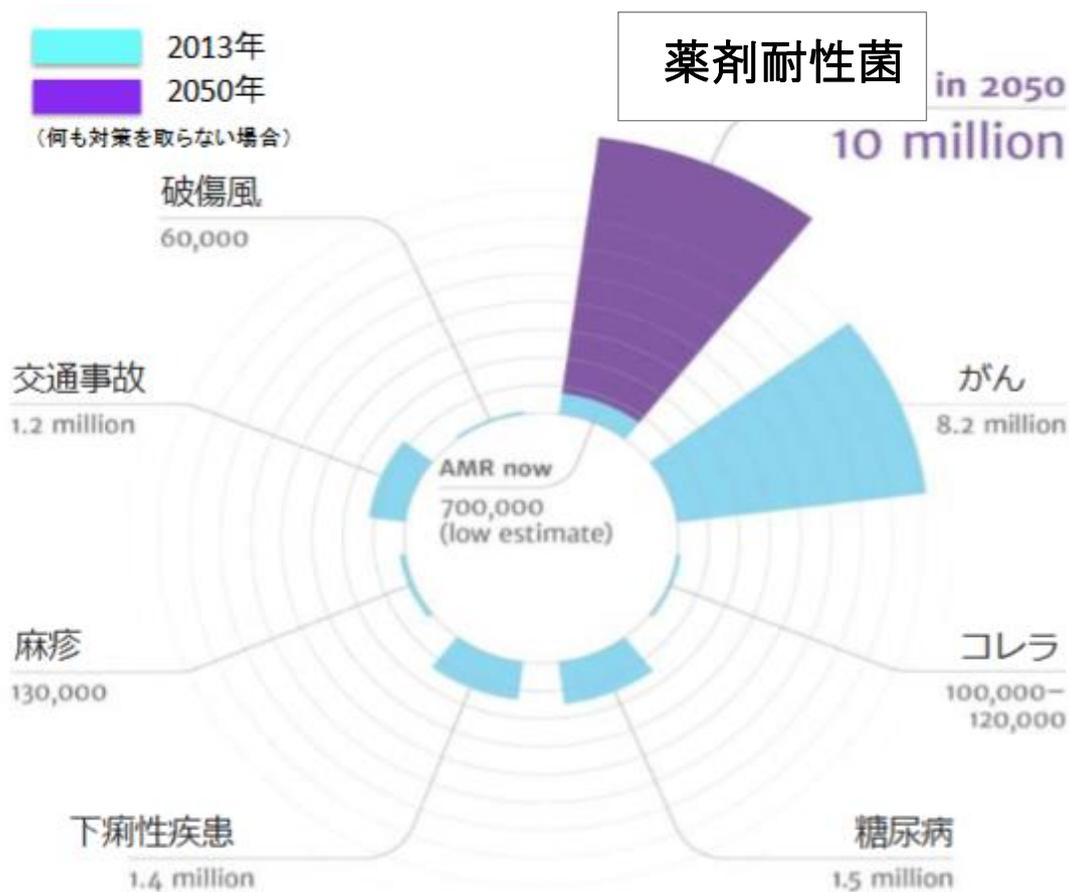
<共催> 東京都府中市医師会 <後援> 東京都多摩府中保健所
<協力> 東京都立多摩総合医療センター

<AMR 対策セミナー参考資料>

※事前学習ご希望の方はご覧ください。

『薬剤耐性菌対策』

薬剤耐性菌対策を行わない場合、2050年には薬剤耐性菌感染症による死者数が、現在のがん死亡者数を超えると試算されています。そうならないようにするため、抗菌薬適正使用などの対策が求められています。



「厚生労働省健康局、厚生労働省におけるAMRの取組」から引用

薬剤耐性菌対策の意義、薬剤耐性菌対策と加算の関係を詳しく知りたい方は東京小児科医会・社会保険委員会の資料（左側 QR コード）を、抗菌薬の簡便な集計システムであるOASCISについて詳しく知りたい方はweb サイト（右側 QR コード）を、それぞれご覧ください。



<お問い合わせ>

都立小児総合医療センター
医事課 近常(ちかつね)

TEL:042-300-5111 内線:3118